

高 齢 者

～安心して長生きできるまちづくり～

➤高齢者の生きがいづくり

➤介護する人への支援体制づくり

人間の幸せとは、健康で長生きをすることにあると考えます。

健康寿命を延ばし、高齢者が人間の尊厳と誇りを持って、安心して元気に長生きできるまちづくりを進めます。

シルバー人材センターの充実や団塊世代の市民活動の推進など、地域で働き、活動する場を増やし、高齢者の生きがいを支えます。

また、地域における介護支援ネットワークづくりの強化や介護人材の確保など、介護する人への支援を充実します。

高齢者

- 31 介護する人への支援体制を充実します。（すぐ）
- 32 配食サービスの拡充を図り高齢者の自立を支えます。（すぐ）
- 33 空き教室や空き店舗、遊休施設などを活用し、各区に高齢者サロン・介護者サロンを設置します。（4年以内）
- 34 シルバー人材センターの充実や団塊の世代の市民活動の推進など、高齢者が地域で働く場を増やします。（4年以内）
- 35 シニアユニバーシティを充実します。（4年以内）
- 36 高齢者を対象とした、（仮称）シルバー元気応援ショップ制度（割引制度）を創設します。（4年以内）

31 介護する人への支援体制を充実します。(すぐ)

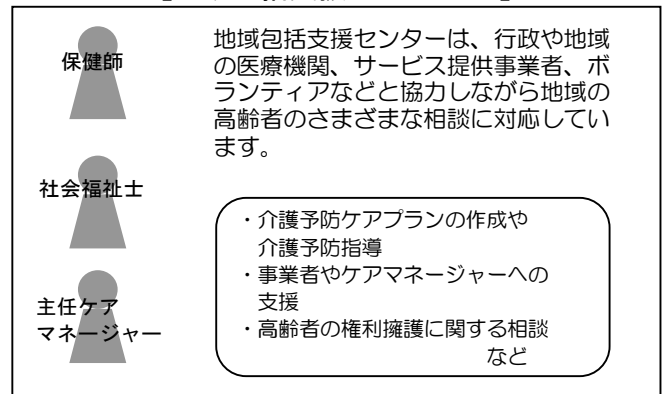
① 数値目標等（取組指標・方針）

- ・平成22年度中に、地域包括支援センターを1か所増やし、市内26か所とします。
- ・平成22年度末までに、今後増加が見込まれる認知症相談等に対応するため、相談員を増やすなど地域包括支援センターの相談体制を強化します。
- ・平成22年度から、地域包括支援センターを、年末年始を除き年中無休で開設します。

【地域包括支援センターとは】

現状(平成21年3月末時点)

- ・地域包括支援センターは、市内に25か所設置しており、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーの3人体制を基本として運営しています。
- ・地域包括支援センターの開設日は、月曜から金曜までの5日間を基本としています。



② 取組内容

- ・平成22年度中に、地域包括支援センターを1か所増やします。
- ・平成22年度末までに、全ての地域包括支援センターの相談員を1人増やし、介護者サロンを主宰するとともに、今後増加が見込まれる認知症相談などに対応します。
- ・全ての地域包括支援センターにおいて、夜間、早朝でも必ず介護者と相談員の連絡がとれる通信機器等を活用した連絡システムを構築します。
- ・体制整備の整った地域包括支援センターから、年中無休（年末年始を除く）に取り組み、平日に相談が困難な介護者の利便性の向上を図ります。

③ 事業計画（工程表）

実施事業等	年度	H21	H22	H23	H24
地域包括支援センターの整備			→ 1か所 (累計:26か所)		
体制強化に向けた事業者への説明会		→			
相談員の増員			→ 26人		
地域包括支援センターの年中無休化			→		
連絡システムの構築			→		

所管課 保健福祉局 福祉部 介護保険課 (問合せ先: 048-829-1264)
保健福祉局 福祉部 高齢福祉課 (問合せ先: 048-829-1259)

32 配食サービスの拡充を図り高齢者の自立を支援します（すぐ）

① 数値目標等（取組指標・方針）

- ・平成22年度の早い時期に、配食サービスを週5回（月・火・水・木・金）に拡充します。

現状（平成21年3月末時点）

- ・ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対し、配食サービスを週4回（月・火・木・金）実施しています。



② 取組内容

- ・社会福祉協議会の協力を得て、ひとり暮らしの高齢者などの、健康管理、孤独感の解消、安否の確認などを目的として、配食サービスを週4回から週5回に拡充します。
- ・市及び社会福祉協議会の広報誌に募集記事を掲載するなど、配食サービス事業に協力するボランティアの確保に努め、実施します。

③ 事業計画（工程表）

年度 実施事業等	H21	H22	H23	H24
関係団体との協議	関係団体との協議			
配食サービスの拡充				

所管課 保健福祉局 福祉部 介護保険課 （問合せ先：048-829-1264）

33 空き教室や空き店舗、遊休施設などを活用し、各区に高齢者サロン・介護者サロンを設置します。（4年以内）

《33-1 高齢者サロン》

① 数値目標等（取組指標・方針）

- ・平成24年度末までに、市内全47地区社会福祉協議会で高齢者サロンを実施します。
- ・平成24年度末までに、老人福祉センターを2か所増やし、全10区に整備します。

【高齢者サロン実績】

現状（平成21年3月末時点）

- ・地区社会福祉協議会が、自治会や老人クラブを単位として、高齢者サロンを実施しています。
- ・老人福祉センターは、8区に整備しています。

区	高齢者サロン実施 地区社協数	老人福祉センター 設置状況
西	3	○
北	4	○
大宮	5	○
見沼	3	○
中央	1	○
桜	0	○
浦和	4	—
南	1	—
緑	3	○
岩槻	2	○
計	26	

② 取組内容

- ・地域の高齢者が集う場としての高齢者サロンの活動について、未実施の地区に実施のノウハウを伝える説明会を開催するなどの方法により、全地区への高齢者サロンの展開を促進します。
- ・老人福祉センターを浦和区と南区に整備します。

③ 事業計画（工程表）

実施事業等	年度	H21	H22	H23	H24
高齢者サロン未実施地区 への説明・開設支援					
		実施地区（累計：30地区）	9地区 （累計：39地区）	4地区 （累計：43地区）	4地区 （累計：47地区）
老人福祉センターの整備					
				浦和区	南区

33 空き教室や空き店舗、遊休施設などを活用し、各区に高齢者サロン・介護者サロンを設置します。（4年以内）

《33-2 介護者サロン》

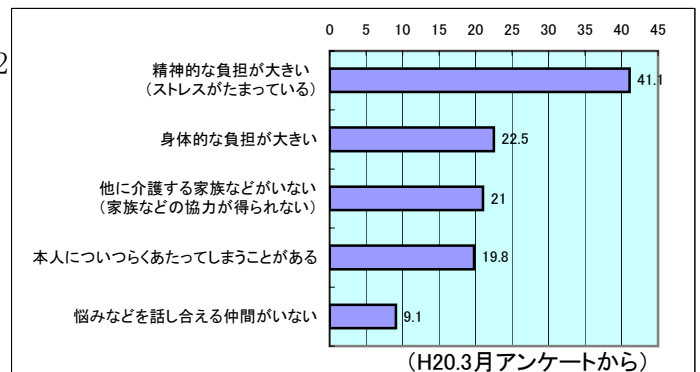
① 数値目標等（取組指標・方針）

- ・平成24年度末までに、市内全ての地域包括支援センターで介護者支援のための介護者サロンを実施します。

現状（平成21年3月末時点）

- ・地域包括支援センターは市内に25か所（平成22年度1か所増）設置しています。
- ・3か所の地域包括支援センターで介護者サロンを実施しています。

【介護して困っていること】



② 取組内容

- ・市内全ての地域包括支援センターで介護者サロンを実施し、介護者同士の交流の機会を拡大し、情報交換と悩み事の相談を行うことにより、介護疲れの軽減を図ります。
- ・介護サービス実施時の声かけなどにより、介護者の参加を促し、介護者が悩み事を1人で抱え込まないよう働きかけます。

③ 事業計画（工程表）

実施事業等	年度	H21	H22	H23	H24
介護者サロンの実施		3か所	26か所		
介護者サロンの周知					

所管課 保健福祉局 福祉部 介護保険課 (問合せ先：048-829-1264)

34 シルバー人材センターの充実や団塊の世代の市民活動の推進など、高齢者が地域で働く場を増やします。（4年以内）

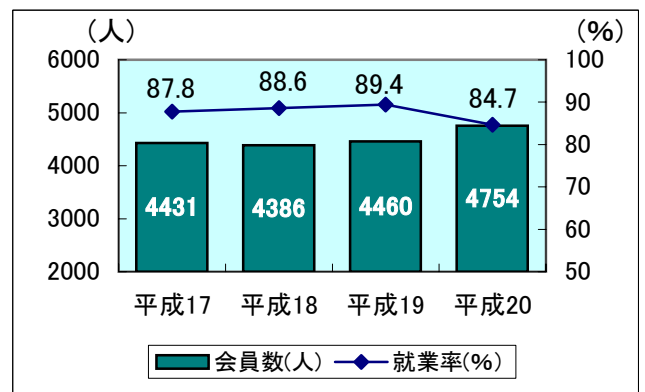
① 数値目標等（取組指標・方針）

- ・平成24年度末までに、シルバー人材センター（注1）の会員数を6,300人に、年間就業率を90%にします。
- ・平成24年度末までに、シルバーバンク（注2）のマッチング数を年間300件以上にします。

現状（平成21年3月末時点）

- ・シルバー人材センターの会員数は4,754人で、就業率は85%です。
- ・シルバーバンクのマッチング数は、38件です。

【シルバー人材センターの会員数と就業率】



② 取組内容

- ・シルバー人材センターの会員増や就業先拡大について周知活動などを行い、事業運営を支援します。
- ・社会福祉協議会や市民活動団体などの関係団体と連携を図り、シルバーバンク登録者の活動の場を確保します。
- ・「シニア生き方発見セミナー」など、団塊の世代などを対象としたセミナーを充実します。

③ 事業計画（工程表）

実施事業等	年度	H21	H22	H23	H24
シルバー人材センターの会員数の拡大	年度				
	実績	646人 (累計:5,400人)	300人 (累計:5,700人)	300人 (累計:6,000人)	300人 (累計:6,300人)
シルバーバンクのマッチング数の拡大	年度				
	実績	150件	200件	250件	300件
シニア生き方発見セミナーなどの充実	年度				
	実績				

(注1)シルバー人材センターとは、高齢者雇用安定法により設立された公益法人。高齢者のために臨時的かつ短期的な仕事・その他の軽易な仕事への就業の提供・支援などを業務としている。

(注2)シルバーバンクとは、地域の中で様々な活動を希望する高齢者を4種類の人材バンクに登録し、専任のコーディネーターによって、地域活動の人材を求める団体・施設等とのマッチングを行っている。

35 シニアユニバーシティを充実します。(4年以内)

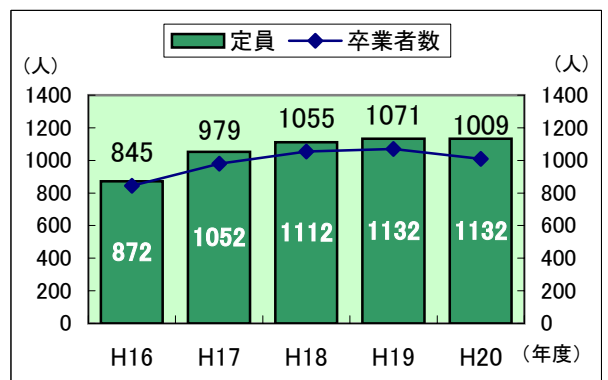
① 数値目標等(取組指標・方針)

- ・平成24年度末までに、定員を1割増やし1,245人とします。
- ・平成23年度末までに、卒業生の活動拠点となる施設を整備します。
- ・平成24年度末までに、校友会活動に参加する卒業生を9割以上とします。
- ・大学院卒業生のうち平成21年度は1割の50人を、22年度以降は2割の100人をシルバーバンクへ登録します。

現状(平成21年3月末時点)

- ・シニアユニバーシティは、一般教養を学ぶ大学(定員564人)・大学院(定員528人)を各5校、IT科と音楽科を学ぶ専門課程(定員40人)を大学院大宮中央校に設置しています。
- ・卒業後の諸活動を行うシニアユニバーシティ校友会連合会が組織されており、約6割が参加しています。

【シニアユニバーシティの定員と卒業生の推移】



② 取組内容

- ・アンケート調査などにより高齢者のニーズを把握し、カリキュラムの見直しや専門課程の新設を行います。
- ・平成23年度末までに、5校舎をとりまとめる本部機能を備えた、卒業生の活動拠点となる施設を整備します。
- ・入学募集案内の中に、卒業後は地域貢献や社会活動への参画を促す内容などを盛り込み、シルバーバンクの登録者を増加します。

③ 事業計画(工程表)

実施事業等	年度	H21	H22	H23	H24
定員の拡大			→		
学科の新設			→		
卒業生の活動拠点の整備		→			
大学院卒業生のシルバーバンクへの登録者増		50名	100名	100名	100名

36 高齢者を対象とした、（仮称）シルバー元気応援ショップ制度（割引制度）を創設します。（4年以内）

① 数値目標等（取組指標・方針）

- ・平成22年度中に、65歳以上の市民に配布している「シルバーカード（注1）」を提示することにより、市内の店舗で割引などの優待が受けられる「（仮称）シルバー元気応援ショップ制度」を創設します。
- ・平成22年度中に協賛店600店舗で開始し、平成24年度末までに1,000店舗を増やします。

現状（平成21年3月末時点）

- ・「シルバーカード」により、市内の老人福祉センターを無料で利用できる制度はありますが、市内の店舗で割引を受けられる制度はありません。

【さいたま市シルバーカード】



② 取組内容

- ・市内の商店会連合会や商工会議所などと連携して、「（仮称）シルバー元気応援ショップ制度」の協賛店を募ります。
- ・協賛店には、協賛ステッカーやポスターを配布します。
- ・協賛店リストをホームページで公表するとともに、65歳以上市民（約24万人）へ送付します。
- ・市報やホームページなどで、「（仮称）シルバー元気応援ショップ制度」の周知を行います。

③ 事業計画（工程表）

年度 実施事業等	H21	H22	H23	H24
協賛店の募集・登録		600店舗	200店舗 (累計:800店舗)	200店舗 (累計:1,000店舗)
協賛ステッカー・ポスター 配布				
店舗リストの送付などによる 制度の周知				

(注1)シルバーカードとは、65歳以上の市民に介護保険被保険者証送付時などに発行しているもの。緊急時の連絡先などが記入できるようになっている。